

流通業・製造業の総合経営実践

Comprehensive management practice in distribution and manufacturing industries

中小企業診断コース関連科目

担当教員	武篤志（客員） 渡邊英男（客員）	単位数	2単位
開講学期	秋学期	開講曜日・時限	授業スケジュール参照
位置づけ	スキル関連分野 応用段階		

科目紹介	
科目の重要性・必要性	<p>【流通】</p> <p>企業の経営診断を進める上で、限られた時間内に問題点や課題を抽出し、経営者のオーダーを踏まえた戦略的な解決案を根拠を示しながら提示できることが必要である。</p> <p>本講義ではケーススタディをベースとした学習により、必要な情報を入手し分析しつつ課題解決に導き出す能力を身に着ける。</p> <p>ケーススタディの取組に当たってはSWOT分析、クロスSWOT等の必要に応じたフレームワークを活用し、ビジョン達成に向けた経営課題の抽出、経営戦略の構築、実行計画の策定という一連の経営診断プロセスを学ぶ。</p> <p>チームワーク主体の講義とし、スケジュール管理を受講者に委ねて講義を進めることにより戦略策定プロセスはもちろん、時間配分のやり方、発表のポイント等を学ぶ機会とする。</p> <p>また講義を通じて流通業界に求められる機能や業界動向の抽出の方法を体感する機会も得られる。</p> <p>【製造】</p> <p>企業の経営診断では、限られた時間内に問題点や課題を抽出し、経営者の意向を踏まえた戦略的な解決案を提言しなければならない。</p> <p>製造業の診断においては、企業の経営戦略を踏まえて、3現主義（現場・現物・現実）の事実に基づく改善診断と将来に向けたアクションの明示が重要である。そのため、手際よく情報を入手して分析し、課題形成して解決策を立案し、経営計画からアクションプランを策定する一連の総合診断プロセスを身につけておく必要がある。</p>

<p>科目の目的</p>	<p>【流通】 戦略構築に向けたフレームワークの選択。必要に応じた定性、定量データの抽出方法の修得。 中小企業の特徴を踏まえた戦略構築と達成に向けた実行計画を策定する力を養う。 ケーススタディを始め実践的な講義によってメンバーのリーダーシップや参加意欲を向上させ、経営診断業務に必要なポイントを体感させる。</p> <p>【製造】 中小企業製造業の特徴を踏まえた工場の診断、経営戦略の策定（全社戦略と会社の機能別戦略）、経営計画（中期経営計画と年度計画）を策定するスキルを養う。 中小企業向けの具体的提案として、中小企業施策の活用方法も学習する。</p>
<p>到達目標</p>	<p>【流通】 1. 流通業を対象として、経営戦略に必要な定性、定量データの分析手法を学ぶ。 2. フレームワークの効果的な活用により経営面、業績回復に向けた戦略策定の策定方法、プロセスを修得する。 3. チームワーク主体の講義により時間内に意見を集約し具体的な提案にまとめる。 発表はチームメンバー全員がパートを分担し、説得力ある発表を行うスキルを修得。</p> <p>【製造】 1. 製造業を対象として、経営戦略に必要な定性、定量データの分析・診断・提案手法を修得する。 2. フレームワークの効果的な活用により経営面、業績回復に向けた戦略策定の策定方法、プロセスを修得する。 3. 中小企業の多様性を理解し、自己の考えに固執せず、他人の意見と自らの意見を調整して最適解を導き出す能力を修得する。</p>
<p>受講してもらいたい院生</p>	<p>【流通】 中小企業経営などの経営コンサルタントを目指す院生。</p> <p>【製造】 中小企業経営などの経営コンサルタントを目指す院生。</p>

授業計画

第1回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	【流通】 予習：フレームワークの特長、使い方について一般的な知識を確認しておく。
	授業内容	【流通】 ・ 経営戦略策定プロセスの復習。経営戦略策定のプロセスを確認。数値計画のみならず、より具体的な実行計画構築のためBSC等のフレームワークを再確認する。
第2回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	なし
	授業内容	【流通】 ・ ケーススタディを3人チームに分かれて取り組みファシリテーションを体験する。 ・ ケース企業の現状（経営理念、問題点・課題）を洗い出しフレームワークを使って体系的に整理。 ・ あるべき姿達成のために乗り越えるべき課題の抽出と具体的な提案への落とし込み。 ・ フレームワーク、中小企業施策等の知識を活用する。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	個別フィードバック
第3回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	【流通】 予習：ケーススタディ①についてチームメンバーとの連絡を取りつつプレゼン資料を完成させてくる。
	授業内容	【流通】 ・ ケーススタディの発表、意見交換、講師コメント。 ・ 発表内容から良いアプローチ方法。施策の提案方法等を相互に学ぶ。

第4回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	なし
	授業内容	<p>【流通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ケーススタディの発表、意見交換、講師コメント。 ・ 発表内容から良いアプローチ方法。施策の提案方法等を相互に学ぶ。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	個別フィードバック
第5回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	<p>【流通】</p> <p>予習：ケーススタディ②の内容の熟読。情報の整理をしてくる。</p>
	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ケーススタディ（2回目）は個人ワークとする。 ・ 自分の知識を活用し診断プロセスに自分で取り組んでみる。 ・ ケース企業への提案に当たって中小企業施策等を使ってみる。
第6回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	なし
	授業内容	<p>【流通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ケーススタディ（2回目）は個人ワークとする。 ・ 自分の知識を活用し診断プロセスに自分で取り組んでみる。 ・ ケース企業への提案に当たって中小企業施策等を使ってみる。

第7回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	【流通】 予習： 個人ワークが時間内に終わらなかった場合残りは宿題。 次回講義時までには資料は完成させる。
	授業内容	【流通】 ・ 提案書の発表、意見交換。 ・ 他のメンバーの発表から新しい知識や自分に足りない知識のイン プット機会とする。 ・ 限られた時間で伝えたいことを要約して伝える方法を学ぶ。
第8回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	なし
	授業内容	【流通】 ・ 提案書の発表、意見交換。 ・ 他のメンバーの発表から新しい知識や自分に足りない知識のイン プット機会とする。 ・ 限られた時間で伝えたいことを要約して伝える方法を学ぶ。
第9回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	【製造】 予習：製造業の特長（工場の仕組み、QCD管理）について一般的 な知識を確認しておく。
	授業内容	【製造】 ・ 製造業の経営診断の進め方 ・ 経営戦略策定のフレームワークの復習
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	個別フィードバック

第10回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	【製造】 復習：課題レポートの作成を通じてこれまで学習してきた内容を整理し理解する。
	授業内容	【製造】 ・ ケーススタディの提示。 ・ 3人にチーム分けしワーク開始（リーダー・タイムキーパー・書記決め（毎回交代）） ・ Step1：経営環境分析（外部環境、内部環境）
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	個別フィードバック
第11回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	【製造】 予習：課題レポートを作成してくる。
	授業内容	【製造】 ・ 経営環境分析（外部環境、内部環境）の個人発表とグループ討議およびグループ案のまとめ ・ Step2：経営戦略立案
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	個別フィードバック

第12回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	【製造】 復習：経営課題の抽出と戦略策定のポイント整理
	授業内容	【製造】 ・ 経営戦略立案の個人発表とグループ討議およびグループ案のまとめ ・ Step3：経営課題抽出
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	個別フィードバック
第13回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	【製造】 予習：事例の経営課題を抽出してくる。
	授業内容	【製造】 ・ 経営課題抽出の個人発表とグループ討議およびグループ案のまとめ ・ Step4：戦略実行の具体策検討
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	個別フィードバック

第14回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	【製造】 復習：戦略実行に際しての具体策検討のポイントを整理する。
	授業内容	【製造】 ・ 戦略実行の具体策検討の個人発表とグループ討議およびグループ案のとりまとめ ・ Step5：実行計画（中期事業計画）策定
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	個別フィードバック
第15回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	【製造】 予習：経営計画策定のポイントを整理してくる。
	授業内容	【製造】 ・ 実行計画（中期事業計画）策定の個人発表とグループ討議およびグループ案のとりまとめ ・ 次回グループ発表に向けて、グループの診断報告書（提案書）のまとめ
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	個別フィードバック

第16回	予習・復習時間	4時間
	予習・復習内容	【製造】 復習：経営戦略の査定から経営計画策定のプロセスごとのポイントを整理する。
	授業内容	【製造】 ・グループ発表。意見交換。講師コメント。 ・講義全体の振り返り。
	授業課題	有
	課題フィードバック方法	個別フィードバック

授業情報	
授業方法	<p>【流通】 最初に知識の確認のために座学を行います。原則ケーススタディに基づくチームごとの討議及び取りまとめ中心の講義となります。</p> <p>【製造】 ケーススタディの課題説明後、個人ワークを行います。未完成部分は宿題として、次回の講義で個人発表を行い、各自が考えた多様な意見を参考にグループ討議を行い、グループ案を纏めます。 その後、ケーススタディの次の課題を提示して個人ワークを行います。これを繰り返し、最終的にグループの診断報告書をまとめ、グループ発表を行います。</p>
テキスト	<p>【流通】 事前にレジユメを配布します。 ケーススタディは講義の中で別途配布します。</p> <p>【製造】 事前にレジユメを配布します。 ケーススタディは講義の中で別途配布します。</p>
参考図書	<p>【流通】 適宜紹介します。</p> <p>【製造】 適宜紹介します。</p>

評価方法		
評価の視点	評価 ウェイト	備考
【流通】 【製造】 レポートの内容	50%	【流通】 研究レポートの内容（課題抽出力、提案力、根拠、具体性）。プレゼン姿勢・説得力等を評価します。ケーススタディを2回出します。【製造】 レポート（個人、グループ）の内容（課題抽出力、提案力、根拠、具体性）。ケーススタディを1回出します。
【流通】 【製造】 講義への参加態度	50%	【流通】 【製造】 チームディスカッションへの参加積極性。リーダーシップ。議論の深堀度合い。チーム協調性。
合計	100%	

受講生へ (授業科目のアピールポイント、必要な基礎となる科目の履修や知識・スキル)
<p>【流通】 講義にはパソコンを利用します。</p> <p>【製造】 講義にはパソコンを利用します。</p>

その他
<p>【流通】 授業は火曜日、金曜日、土曜日に8回行う。</p> <p>【製造】 授業は8回行う。</p>